

不思議発見！！京の科学系博物館を探るコース

〔ねらい、目的〕

このコースは、京都にある数多くの自然科学系博物館を訪れ、その魅力や特色を研究し、それを紹介したり、青少年科学センターで開催される「青少年のための科学の祭典」に参加することで、『理科好きな子ども増やす』ために、何ができて何が必要かを考えるコースです。

〔京都市青少年科学センター〕

青少年科学センターのパンフレットには、『見て、触って、科学の世界を体験すると、きっと、小さな？(疑問)が大きな!(感動)になるでしょう。』という言葉が書かれています。このように、科学センターには、動くティラノサウルスの模型、カブトムシの家やチョウの家など楽しみながら科学する心を育てられる、面白く、興味深い展示がたくさんあります。また、プラネタリウムや、センター学習などの行事も開かれています。

私たちも、特別にイモリを題材にした両生類の実験室学習を体験させていただきました。学習の最後には捕獲されたオオサンショウウオも見せていただきました。

この学習は毎年更新され、この計画や準備には1年近くもかかるそうです。



〔京都市動物園〕

京都市動物園は1903年4月に開園した動物園では、全国で2番目に歴史のある動物園です。

動物園は、ライオンなどの有名な動物から、バクなどのあまりなじみのない動物まで飼育されています。改修工事によって、去年にはなかったヒツジやヤギなどとふれあえる場所もできていました。

毎週土曜日には、動物たちのえさやりの見学など、様々なイベントが行われており、敷地内には動物を調べるための資料館や図書館などもあります。



〔京都府立植物園〕

京都府立植物園は総面積が24万㎡の広大な敷地であり、1万2000種類の植物が約12万本もあります。この植物園の温室は、日本最大級の規模で、4500種類、2万5000本の熱帯の植物を観賞することができます。

園内は日本の四季の花が見られる花壇や、洋風庭園、梅園、あじさい園などに分かれており、とても見やすいようになっています。



〔京エコロジーセンター〕

京エコロジーセンターは、環境について学習できる場所です。ここでは、映像や資料を見て、様々な体験を通して、エコの大切さを学ぶことができます。館内には、トイレや洗濯機が実際に置いてあったり、エコ虫というキャラクターを様々なところに配置して、ポイントとすることで、小学生などの小さいお子さんにもわかりやすいようにしてあります。ほかにもシーソーで自分の体重とゴミの重量を比べたり、自転車で発電する展示物など面白いものがたくさんあります。



〔青少年のための科学の祭典〕

京都大会 出展

私たちは、11月5日(土)と6日(日)に『青少年のための科学の祭典2011京都大会』に参加しました。

この催しは、理科工作やおもしろ実験を通して、一般のお客さん、特に小学生以下の子どもさんを対象に、理科を学ぶことの面白さや、科学の不思議を体験してもらう科学のお祭りです。私たちはこの祭典で『化石のレプリカをつくろう』というブースで出展し、たくさんのお客さんに喜んでもらいました。



〔京都大学〕

総合博物館

京都大学総合博物館には、アンモナイトの化石や標本など、様々な展示物があります。中でもランビルの森という巨大なジオラマは、京都大学とマレーシアが世界に先駆けて行っている共同研究の最新成果が解説されています。このほかにも、植物の標本や古代生物の化石など数多くのもものが展示されています。



〔まとめ〕

理科好きな子どもを増やすために何ができるか

- ・子ども向けの面白い実験を各地で行い、子どもたちに理科独特の面白さと「なぜ？」という疑問を探求、解決する楽しさを知ってもらう機会を増やすこと。
- ・子どもたちが自らの手で実験する機会を増やし、理屈だけの「つまらない理科」ではなく、「体験する楽しい理科」にする。
- ・大学の研究者に、特別講師として学校で授業してもらう。